

第2号様式（第11条関係）

意見公募手続(パブリックコメント)に対する意見等の概要及び検討結果

- 1 案 件 名：鹿屋市児童センターの今後の取扱い基本方針（案）について 〈検討結果区分〉  
 2 意見の募集期間：令和4年9月14日～令和4年10月13日（30日間）  
 3 意見提出者： 2人  
 4 意 見 数： 3件

A：策定案に反映できるもの	件
B：既に盛り込み済みのもの	1件
C：今後の参考となるもの	件
D：反映できないもの	件
E：その他感想や質問など	2件
計	3件

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
1	児童センターは現状を10年程度維持し、新たに複合施設の一角に整備することを提案します。	C	「児童やその保護者が自由に遊べる機能を残す」との基本方針（案）に係る御意見として承り、今後公募型プロポーザルを実施する上での参考とさせていただきます。 また、複合施設の整備については、御意見として承り、今後の市政運営の参考とさせていただきます。
2	西原地区は文教・スポーツの地区としての位置付けで、児童センター・図書館・美術館などの複合化施設として整備し、市民の教育・生涯学習環境の向上を図るべきと考えます。 鹿屋の文化ゾーン、文化施設の再検討に関しては10年程度の間を終え、市民の理解を得て整備を図る方向で進んでいくことを訴えます。	E	御意見として承り、今後の市政運営の参考とさせていただきます。
3	今後、無茶苦茶走れる施設にした方が良い。 汗をかく運動をあまりしなくなると将来、大人になって骨折する可能性が高い。特にスーパーやディスカウントストアが遊び場となっている現在、お客様からすれば危ない。けれど、そうそう広くて鬼ごっこ出来るような施設は少ない。ストレスが多く、ゲームについ座って	E	御意見として承り、今後の市政運営の参考とさせていただきます。

長時間するあまり、空腹になる機会だったり、日光に当たらない生活が長期に渡って続くのは問題である。

それと調査と収入をアップさせるため、風力計と心拍数、体重、身長などを小さなレンタルできる機器によって、かかとを地面につける訓練や、風によって電気を貯める時計のようなもので遊べば遊ぶ程、電力が貯蔵するシステムを構築させる。

健康と収入によって、自然と運動に関して楽しく継続的に出来るように3大エネルギー風・太陽・熱によってクーラーを維持したり、水が無毒化できるシステム、汗によって電気を作るシステム。これを小型化した制御できるシステムによって動かす、“動くシステム化”つまり調査と健康、収入、還元を行うシステムをつくる。

書籍を書きたい場合は、目で書けるようにする。プラス、手でも書けるといいうまいことを組み合わせたシステム。体育館用のようで開放できる（日光を取り込むことが制御可能な施設）。壊れても組み立てやすく、頑丈なつくり。朝の5時から走れ、夜9時まで走れる施設。ほか弁当などが輸送しやすい駐車場。あとドクターヘリーの到着できる補給場。補給と人員の交代、部品交換など緊急性の高い施設への早変わりできる施設。スケボー施設は障害物がたくさん必要な為、外国とか視察に行った方が良い。

住みにくい環境がすべてに悪いとは限らない。それを大会にしたりゲームにしたらいい。徹底的に、競争とは無限パワーを生む。悪いことばかりではなく、良い点も見ることが大事と考える。

普通、施設というと平地だが、ここではデコボコも利用する。ヨットか船を訓練出来るようなシェルターのようなコクピットをつくる。

また、雨で道路が冠水の時は出動できるようなシステム、専用駐車場をつくる。不利も美点を考えて、物事違い時はまず足場を堅めよ。はやりがすべてではない。時流の中にも花があることを忘れない。すべての解決方法は寝て待つしかない。しっかり寝ること。

**【意見については原文のまま記載】**